

中 村 健 一

中村健一氏は、1971年に中村留精密工業株式会社に入社以来、一貫して工作機械分野で活躍され、特に一台の機械で旋削やミリング加工など多種類の加工ができる「複合加工機」の先駆者として革新的な工作機械を市場に投入してきた。また、精密加工が求められるガラス加工分野において、光学用レンズ、液晶ガラス、ハードディスク、光通信用コネクタなど情報機器に関わる最先端素材、部品の自動加工システムを数々開発し、最先端のものづくりに貢献してきた。これらの産業貢献により、2004年に藍綬褒章を授与されている。

2007年より日本工作機械工業会会長を3期6年間務め、工作機械業界の牽引役として活動した。在任中は重要課題としてものづくり人材の育成を掲げ、先端科学技術に対する造詣が深くかつ技術集団の中でリーダーシップを発揮できる人材や優れた技能をもつ人材を育成する企画を次々に事業化した。中でも、理工系学生に最先端の工作機械技術に触れてもらう工作機械トップセミナーは、学生に対してもものづくりへの興味喚起と製造業・工作機械産業で働くことの素晴らしさを啓発し、工作機械や精密工学の魅力を大学および社会に対して発信している。

学会活動としては、2013年に精密工学会よりフェローの称号を授与された。2014年には第15回精密工学国際会議(ICPE2014)の実行委員長として、最先端の科学技術の論文発表に加え、伝統的な日本文化に触れるなどの多彩なプログラム設定で国際会議を成功に導き、学会の発展と国際化にも大きく貢献した。

以上のように、同氏の工作機械産業および生産加工技術の発展への貢献と功績は極めて大である。



略 歴

- 1969年 駒澤大学経済学部卒業
- 1971年 中村留精密工業株式会社入社
- 1988年 同社代表取締役社長
- 2004年 藍綬褒章受章
- 2005年 (一社)日本工作機械工業会会長
- 2011年 関連会社 KNT CO., LTD 代表取締役社長
- 2012年 中村留ホールディング株式会社代表取締役社長
- 2013年 精密工学会フェロー